

著者 教習 月

ル
ー
テ
ル
Muther
Martin

No. 2 アマテウス

背教者ルーテル 第2回 アマデウス

事の本筋は1517年にマデウスがのぼる。時の帝ビセンはロバド討伐を得たラヴェーナを教皇に献上。



教皇領事始である。
ラヴェーナは教皇の経済的基盤であった。

いかに、まじい

もつとすく
レオがコンスタン
ティノブル教皇と
争ったとき

まじいは
ローマ法王として
いつものがあつた
とき



もしかすると
キリストがゴルドアの
丘で十字架の木にか
かり死したときか
らかもしぬが

現在

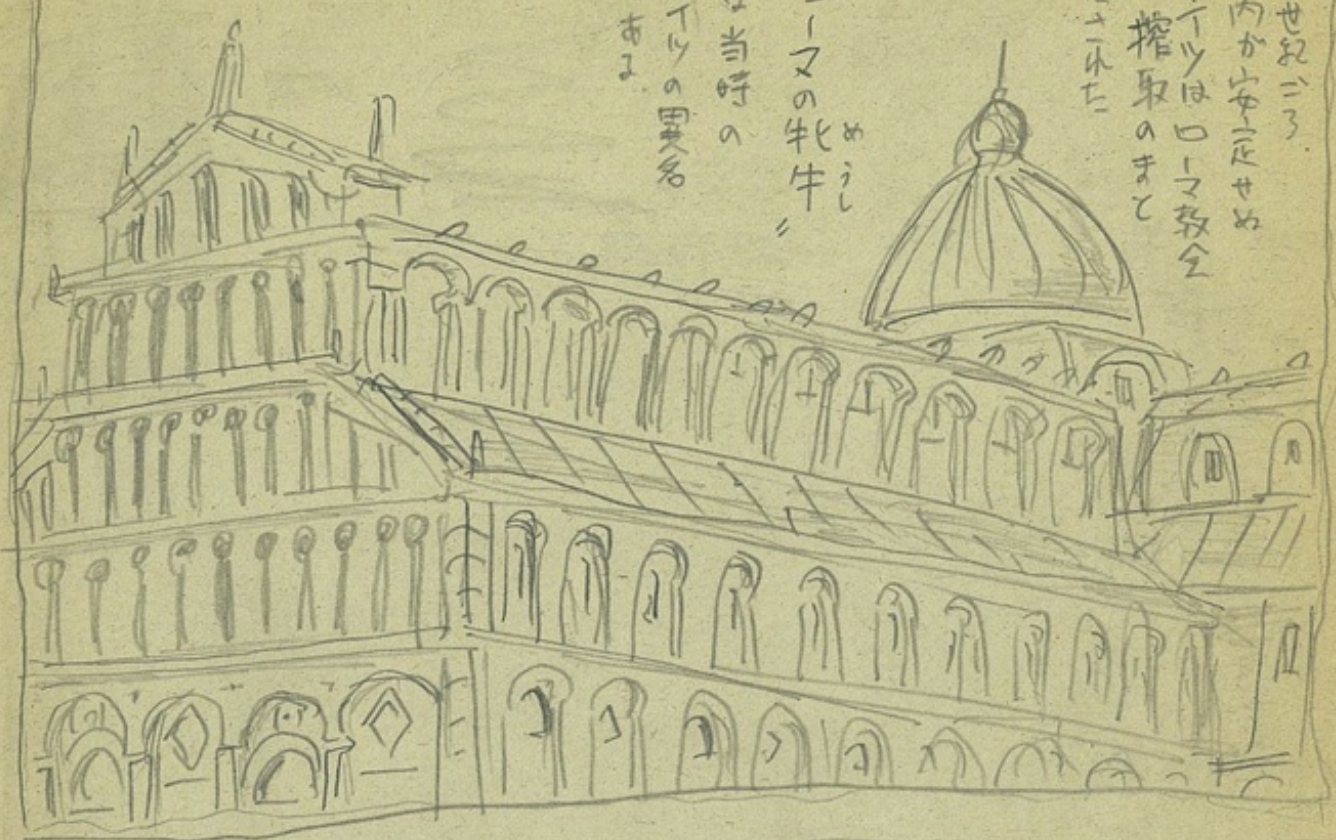
三大宗教に教えられた
キリスト教は、本来、進むべき道から
はずれてしまつたのである。



ともかくローマ教皇は権力をもつようになり、
諸國の王と争ひ、
教皇ハカ裂かたげかな事をやり
コンスタツツハム全盛にて権威を高めた
宗教裁判のこともやり出した。
かつてこの帝の心により近々、まじいキリスト教は
異教を迫害し、処刑するようになつて来た。

1459年
国内から羊を定ませぬ
ドイツはローマ教会
の搾取のまて
にニヒル

「ローマの牝牛」
とは当時の
ドイツの国名
である



人々も救えき教会は
とくに人々を苦しめた
キリスト王はイタリヤ政策の
せぬまに教皇を保護した。

1533年に即位した教皇クレオメン10
世は、ドイツにおける免罪符の
発売を許可した。
ドイツは最大市場となり、
オーストリアはアウグスブルグの
巨商フッカー家がへり入して
いた。



盲目的信仰心をもつ教徒の
おかげで教会は大もうけで
ある。
しかしこの免罪符販売は
ドイツ宗教改革の直因と
もなっていくのだ。

1517

夏



マルティン・ルーテルは
ウイッテンベルクの
問題教師だった。



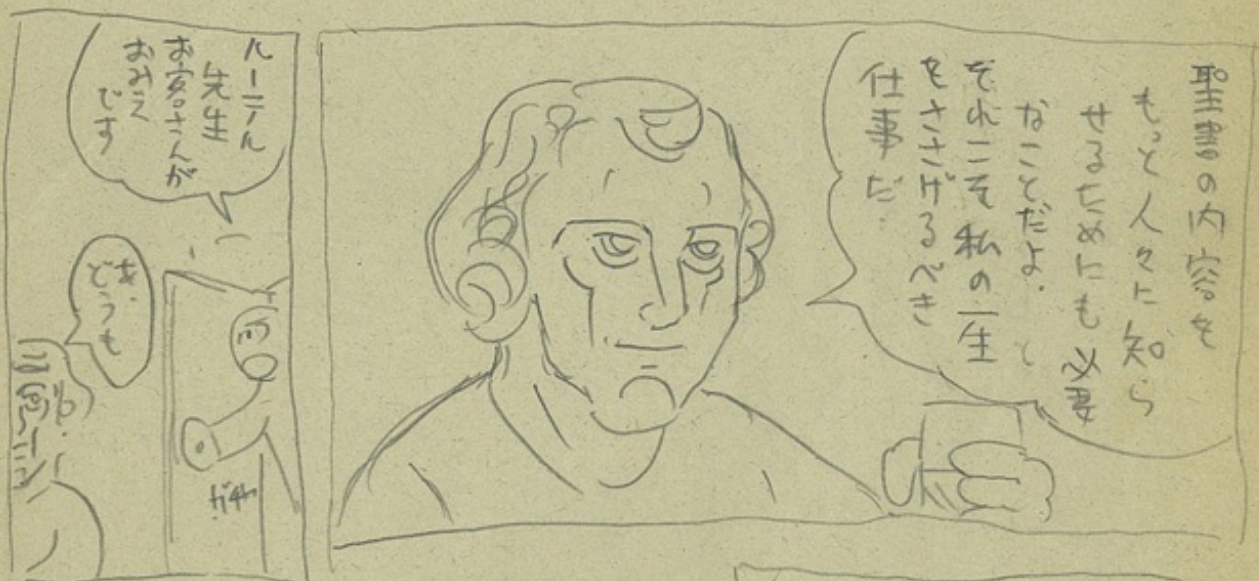
彼が教皇に批判的な
意見をもちつづけることが
有名になっていったから
である。

しかし、ルーテルの考えに共感する
人もふえ、マサール・オアニスも
筆頭とする、ルーテル・ゲル・フ
とでもいうグループができていた。



彼ら日夜
聖書研究には
いそしんでいた。





アマテウス

ハハハ

アマテウスといふが、もちろん

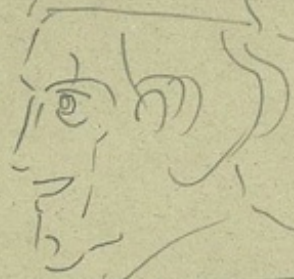


へー

アマテウスが

Studio

だよ



私の

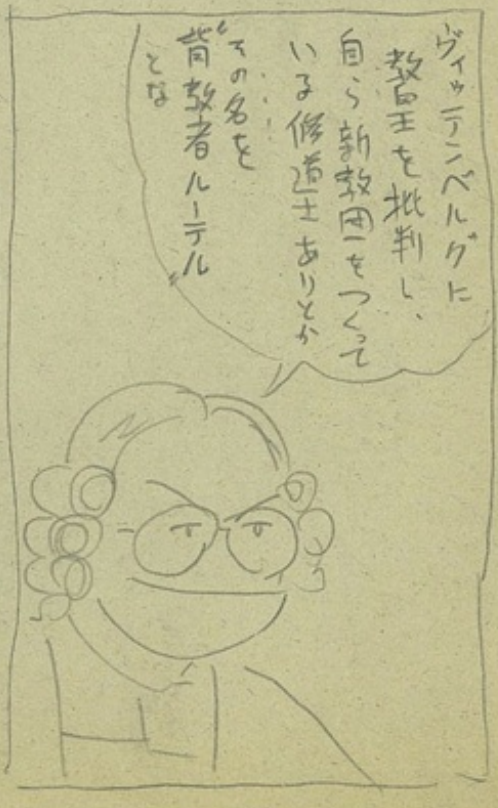
幼なじみ

だよ



ホテル





「凡談じゃないー
誰が共済教者だっ
いうんだ？誰だ
そんなことを言う
やつは？」

うやう
たよ

私は
キリスト教徒を
やめろおげえ
なでおいで

おちつけ
よ

新教団を
つくったおぼろ
もないぞ

知っているよ
でも



ローマ教皇をも
批判するのは
事実だ

よあ
え

私はつまり
教会には
皇太子と
矛盾する

そっかー

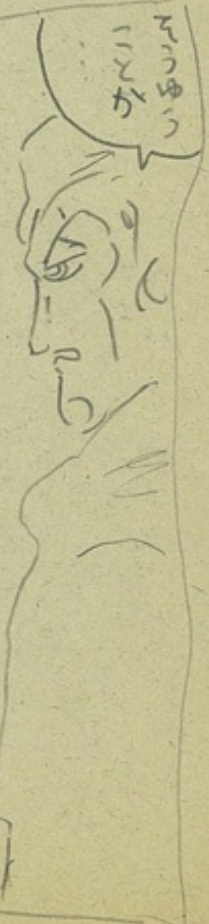


そっゆう
ことが

シムルカルデン
の司祭が
向をしに
きたんだ
？

レオ10世
の
さがね
か？

でも
ただ私が
なつかしくて
会いにきてわけ
いせなそうだな



あい
あい

二か二
しんち
二二二二二

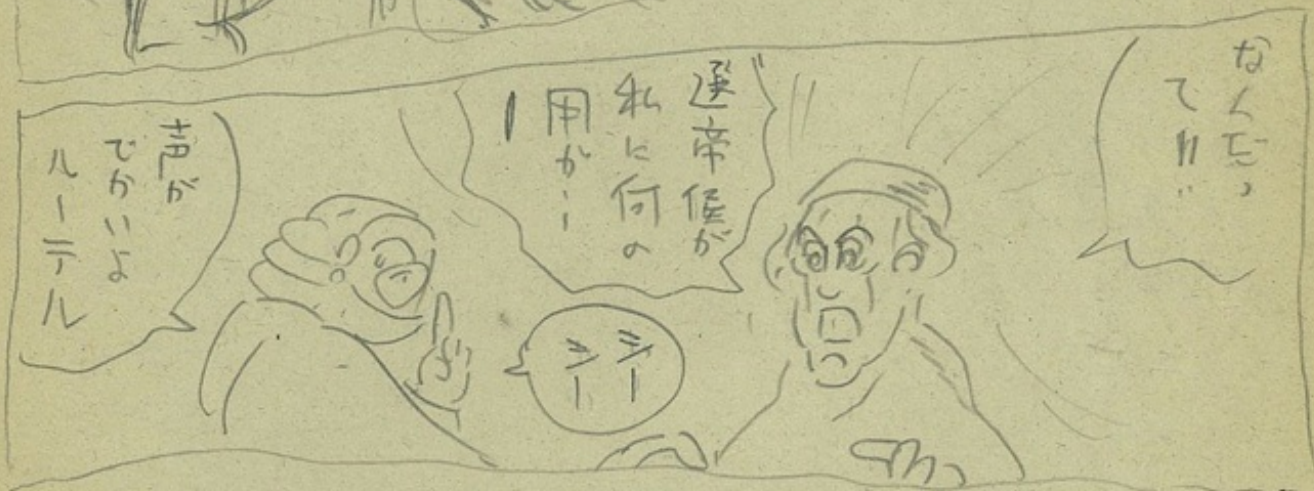
カメラ
→

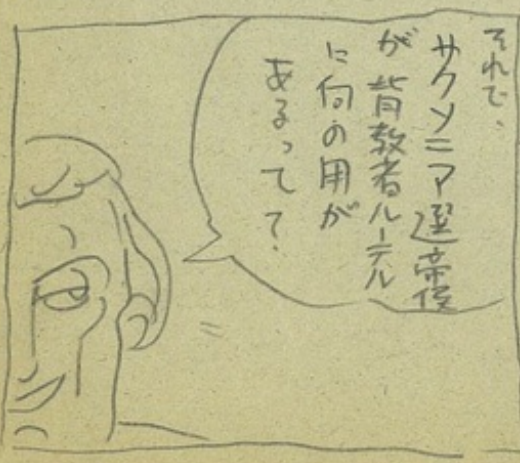
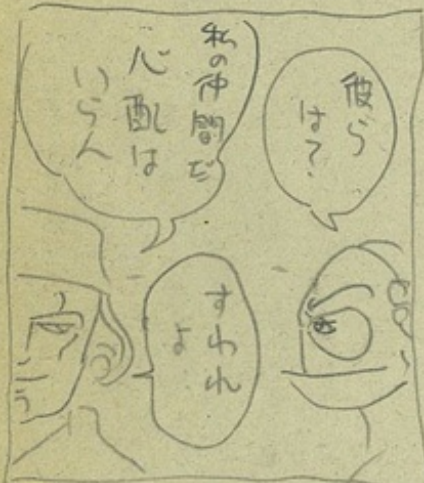


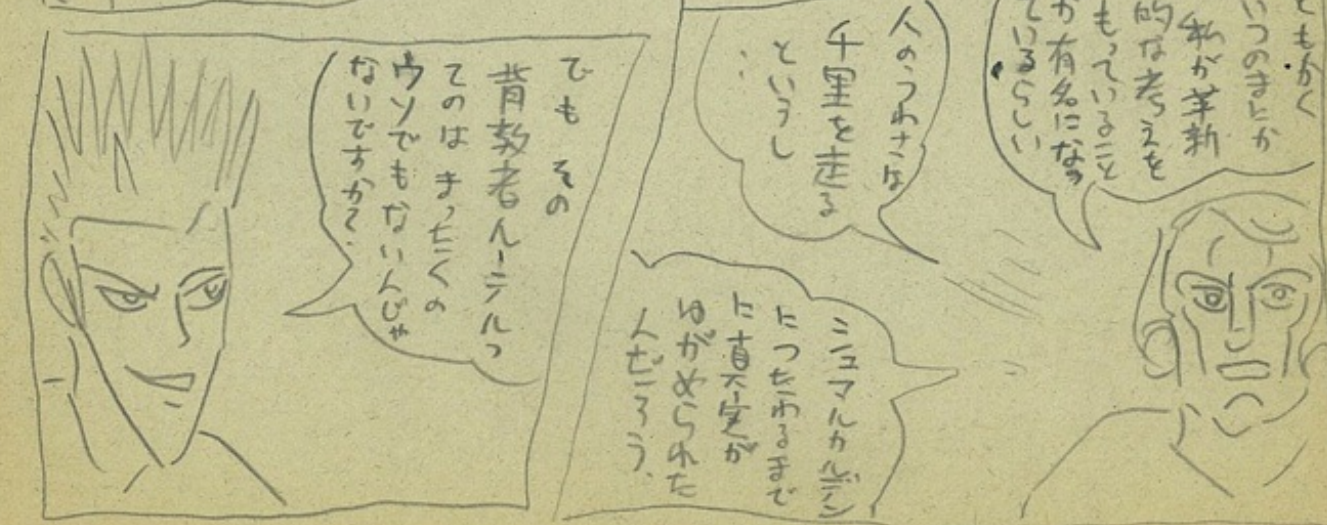
OK

ハッ
ン

おは
なは
なは
なは
なは
なは





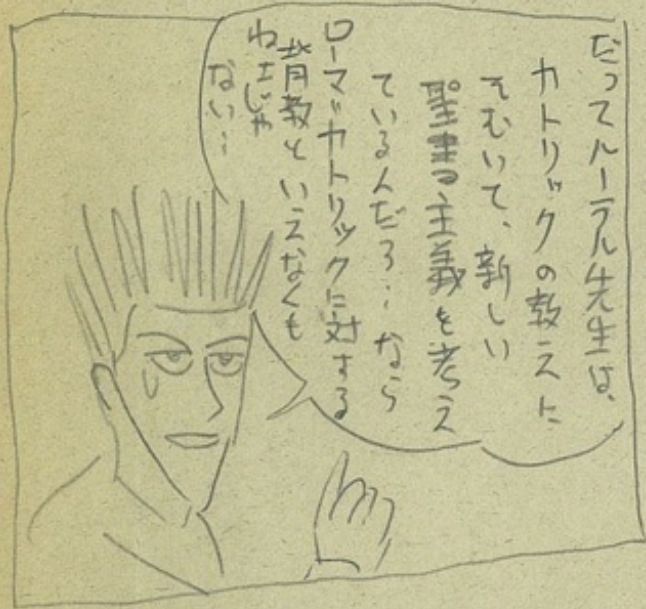




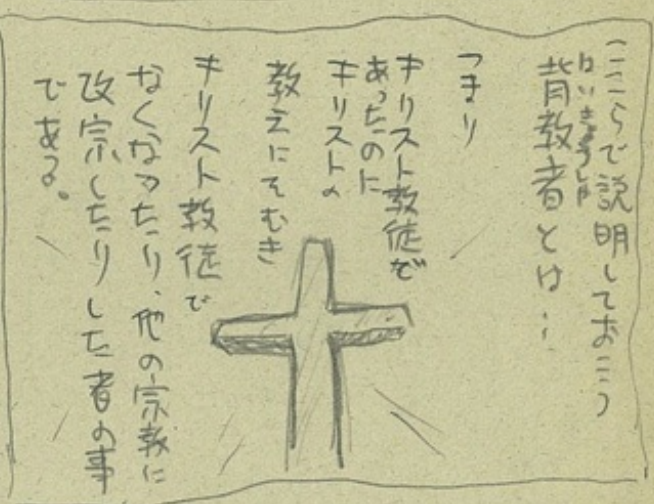
な、向てミことを
いうんぞ
カマニル!!

先生に
おかしな
リ

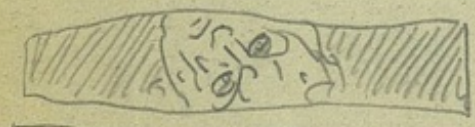
だ、だって
そっかおかしな
な



だってルーレン先生は、
カトリックの教エスに
てむいて、新しい
聖書の主義も考エ
ているんぞ... かなら
ローマカトリックに対する
お月教といえなくも
おかしな
ない...



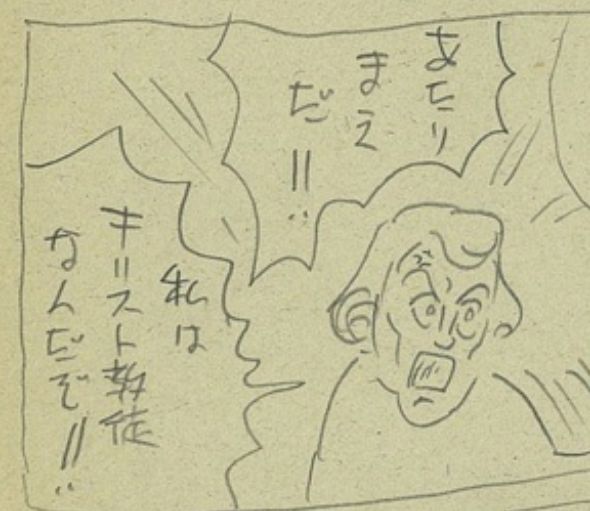
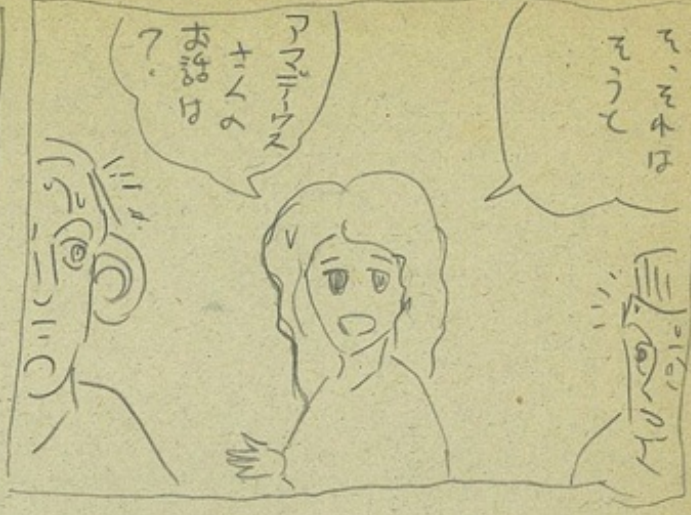
(ニニ)で説明しておニ
おかしな
背教者といけ...
つまり
キリスト教徒で
あつたのに
キリスト
教エにもむき
キリスト教徒で
なくなたり、他の宗教に
改宗したリした者の事
である。



く... Dもつしみをマ
カマニル者...
私がお月教者とい...
バカなこと...

私は
教皇を不認定する
気もなければ
ローマ教会を不認定する
気も、カトリックを不認定
する気もない!!
私は教会の肅清をめざし
ていよつもりぞ...
新しい教団をもって
カトリックにお月くが
で、
バカな!!





「背教者ルーテル」 vol.2アマデウス

<http://p.booklog.jp/book/31505>

著者：獣田由狼

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kemonoda/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/31505>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/31505>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.